資料３－３

「我が国としての国際有人宇宙探査の検討に向けた原則とすべき基本的な考え方」の策定に関する宇宙科学・探査小委員会における議論のポイント

○現在の国際宇宙ステーション関係の予算を念頭に置きつつ、全体経費が過大にならないよう調整していく必要がある。

○国際協調の有無にかかわらず、日本が何をしたいのかがまず重要である。

○長期的な視野に立ち、民間との連携も必要。

○不確定要素が多いため、柔軟に対応すべき。

○トップダウン型の国際宇宙探査は、ボトムアップ型の宇宙科学探査における意義・目的を尊重して進めるべき。

以　上